

流域治水の具体的な取組み内容

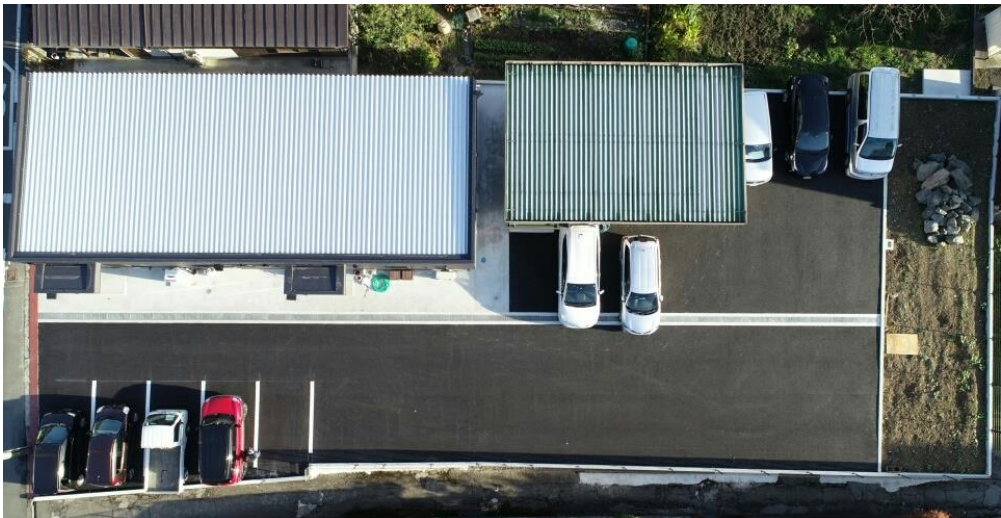
下記のとおり流域治水の具体的な取組み内容を報告します。

(企業等名称：有限会社大成工業)

目的や背景	<p>2019年11月に本社を移転しました。移転先の本社の目の前に2級河川の五反田川が流れていることから、地域貢献を目的として愛リバー・サポーター制度に登録し、河川美化清掃を実施することとしました。</p> <p>また、旧本社では裸地のまま車両を置いていましたが、本社移転に伴い駐車場も新設することにしたため、河川が近いことから川に流れ出る水を減少させるため、雨水を浸透させる透水性舗装を敷設することに決めました。</p>
取組み内容	<p>愛リバー・サポーター制度への登録は2020年7月、初めての河川美化清掃活動は2020年10月に実施しました。本社前の五反田川にかかる鯨橋から下流230mの区間の除草やごみ拾いを、令和2年度は2回、令和3年度からは年3回継続して実施しています。</p> <p>透水性舗装については、本社建物と犬走部分以外の土地(A=346.4㎡)を、2019年11月の本社新社屋の完成に合わせて敷設しました。</p> <p>防災士の取得については、令和3年8月に防災士の資格を持った事務員が1名入社したことがきっかけとなり、他の従業員へも防災士の資格を取得するようサポートや働きかけを行っています。</p>



取組状況が
分かる写真



その他	<p>愛リバー・サポーター活動については、定期的に除草やごみ拾いを実施しているため近隣住民の方々からお声がけをいただくようになり、大変励みになっています。また、通行人の方からも興味を持ってもらえるよう、自社で作成したオリジナルのみきゃんポロシャツを着て活動しています。愛リバー・サポーターの活動を始めてから、社内でも、大雨の時には安全に注意しながら自主的に五反田川の水位を確認したり、水位が下がってから何か大きなものが流されたり引っかかったりしていないかを確認するようになりました。</p> <p>透水性舗装が施された駐車場は、雨天時に舗装の上に雨水が溜まらないというメリットがあるため、車両がスリップしたり水を撥ね上げることなく出入りできています。また、少しでも下水道や河川の雨水処理量負担が軽減されるよう、本社駐車場以外の敷地においても透水性舗装を敷設しています。</p> <p>防災士については、資格保有者の入社がきっかけとなり、社内でも防災士の資格を取得しようという意識が高まっているので、会社としてサポートを継続していきたいと考えています。</p> <p>また、当社は事業継続計画（BCP）を策定し認定を受けていますが、現在内容は主に地震発生時についてのみとなっています。しかしながら、地震以外の災害発生時にもBCPを軸として緊急災害時に速やかにパトロールや応急復旧等ができる体制があるため、資格保有者が中心となって活動ができると考えています。</p>
-----	---